

## 昭和天皇退位論

- ・ 宮中内部での動き 元首相近衛文麿らによる  
→ 「国体護持」が最大の目的

- ・ 天皇制擁護論の意味

占領軍の要求を先取りする形での「知」の動員

国民の天皇／天皇不執政論の登場／歴史

→その後の象徴天皇制を支える根拠に？

## なぜ天皇制が維持されたのか？

- ・ 連合国内の強い世論  
1945年6月ギャラップ社調査「戦後、天皇をどうすべきか？」  
処刑：33%、投獄・国外追放：20%、法廷に：17%、不問：4%、傀儡利用：3%
- ・ 占領軍（GHQ）の思惑
- ・ 日本側の考え

## 天皇の「人間宣言」

- ・ 「五箇条の御誓文」の挿入

意図の曖昧化

天皇の強い意志

神の末裔であることは否定していない

- ・ マスメディアの影響力

発表当日の新聞／藤樫準二『陛下の”人間”宣言』（同和書房、1946年）

・「人間」をめぐる軋轢

1948年「カニの横ばい」事件（社会党・松本治一郎参議院副議長）

**まとめ**

- ・「道徳」的存在として捉えられる天皇
- ・「人間宣言」をめぐる意図の相違

**参考文献**

- ・吉田裕『昭和天皇の終戦史』（岩波新書、1992年）
- ・河西秀哉『「象徴天皇」の戦後史』（講談社選書メチエ、2010年、第一章・第二章の1）